

# 米子市福米東地区 山地二区自治会

## 大和地区 桜台自治会

～デジタルで、自治会はもっとラクになる～

自治会紹介（令和8年1月現在）

### ■ 山地二区自治会

- ・自治会加入世帯:331世帯
- ・自治会女性役員数:3人/11人中(約27%)

### ■ 桜台自治会

- ・自治会加入世帯:約120世帯
- ・自治会女性役員数:2人/5人中(40%)

※山地二区自治会長と桜台自治会広報部長のお二人からお話を伺いました。

## 活動概要

### ■ 山地二区自治会

役員のなり手がなく、自治会解散の危機を迎えようとしていた。市内の他自治会によるデジタル化の取り組みを紹介した動画をきっかけに、実際に話を聞きに行き、自治会活性化に向けて取り組むこととした。

現在は公式 LINE を活用し、行事案内や連絡事項などの情報を住民に発信している。

### ■ 桜台自治会

自分(現在の女性広報部長)が以前、自治会長を務めていた時から地域に合ったデジタル活用を進めてきた。公民館に Wi-Fi を設置する際には、班長会で協議し実行した。

現在は回覧板に加えてアプリでも情報提供を行い、とんどさんや夏まつりなどの行事を実施。行事を通して、デジタルだけでなく住民同士の交流やつながりも深めている。

## 女性参画で活性化したこと、よかったことなど

### ■ 桜台自治会

自治会運営の多くは事務的な作業であり、特に性別は意識せず、分担して進めている。

子ども会の保護者を中心に、年齢を問わず声をかけると快く引き受けただけける環境がある。

## 活動で工夫している点等

### ■ 山地二区自治会

役員間でグループ LINE を作成し、連絡や調整をスムーズにしたことで運営の負担が軽減された。

あわせて、自治会費の活用状況を公式 LINE で紹介し、住民に自分の暮らしにどう役立っているのかを知ってもらう工夫をしている。

## ■ 桜台自治会

日頃から声掛けを大切にし、人とのつながりを育んでいる。子ども会をきっかけにつながった女性たちが、行事や運営を手伝ってくれる場面も多い。無理をせず、助けが必要なときは周囲に頼り合いながら、支え合う体制をつくっている。

また、班長の負担軽減のために、来年度は自治会費の集金の回収方法などの見直しを目指している。

## 自治会役員を経験して思うこと

### ■ 山地二区自治会及び桜台自治会

市内でデジタルに関するネットワークが広がり、各自治会の取り組みを共有できたことは大きな学びとなった。今後も続けていきたい。

### ■ 桜台自治会

役員を務めて良かったと感じている。多くの人と出会い、地域の中で顔を覚えてもらえたことは大きな財産となっている。

## 自治会運営の今とこれから

### ■ 山地二区自治会及び桜台自治会

さまざまな背景を持つ人が関わる中で、定期的集まることは簡単ではない。慣例のままでは自治会運営を続けていくのは難しく、今の時代に合った形へ少しずつ変えていく必要があると思っており、デジタル化を押し進めたいと考えている。



山地二区自治会とんど祭の様子



桜台自治会夏まつりの様子